

高津 100 周年に向けて



私たちの母校高津高校が、2018年に100周年を迎えます。

私自身、高津時代、楽しい思い出ばかりだったのかというと、むしろ苦い思い出のほうが多かったように思います。朝日ジャーナルを小わきに抱え、難解な言葉で自分を纏い、周りの評価にビクビクしながら、懸命に背伸びをしていた時代だったと思います。せっかく高津高校が用意してくれた「自由」さえも、素直に享受できない自分がいました。

そんな私が、同窓会のお世話をさせていただいています。そして、今「自由」を満喫しています。気負うこともなく、飾る必要もない。やろうと思えばやれる場があり、会おうと思えば会える機会があります。そんな場の一つが同窓会ではないでしょうか。

高津 21 期同窓会では、[麻雀大会](#)、[ゴルフコンペ](#)、[ファイヤーブランズのライブ](#)、[硬式テニス交流会](#)（片岡佑倫さんが中心となって）などの活動をしています。もっともっと増えればいいなと思っています。私自身、決して社交的ではありませんが、交友関係は徐々にですが広がってきています。全く親交がなかった学友の新たな一面に触れるのも楽しみの一つです。

先日、東京在住の学友の訃報を目にしました。いつか会えると楽しみにしていました。その「いつか」は二度と来なくなってしまいました。私たちには、「明日」「次」はないのかもしれませんが。やりたい時にやらないと、会いたい時に会わないと、時間は待ってくれません。「いつやる？」「今でしょ！」なのです。

私たちの母校高津高校が100周年を迎えます。100周年ということで、いろいろな催しが行われます。記念誌も発行されると聞いています。つい先日、100周年記念プレゴルフコンペがありました。今回は56人が参加しました(21期は6人)。大仰との見方もありますが、この100周年は、みんなが集うチャンスでもあるのです。「100周年」という旗印（口実）のもと、みんなで楽しんじゃおうということです。さらに言うなら、100周年バンザイでお終いにするのではなく、これが始まりになるかも知れないのです。

100周年では、記念式典のほか、高津の教育環境充実のためにも、お金が使われます。100周年にとどまらないで、次の100年のために、何ができるかを考えています。育英基金もその一つです。

みなさんもお存じのように、21期の森田秀朗君が募金委員長を仰せつかりました。100周年記念の屋台骨を支える大役です。「金額が少なくても、多くの人から集めたい」という森田君の言を受け、21期の募金委員、田村君と山田（旧姓村本）さんは、麻雀大会やゴルフコンペなど、楽しい催しを企画してくれています。楽しみながら、寄付を集めようということです。皆様方の多数の参加をお願いします。

最後に、やはり「寄付もよろしくお願いします」の一言を添えさせていただきます。先日、配送された同窓会報「FROM KOZU」に、振り込み用紙が添付されていますのでよろしくお願いします。また、免税が不要の方は、21期 HP に記してある同期の募金口座への振り込みをご利用いただくこともできます。重ねてよろしくお願いします。

※21期の募金口座情報は次のPDFファイルでも確認出来ます。

<http://www.sato-light.com/kozu/21ki/2015/katudo/4-bokin/bokinkoza-kaisetu.pdf>

「以下のホームページも一度覗いてみてください。

高津高校創立100周年 <http://kozu.cc/kozu100/>

高津高校ホームページ「群芳」 <http://kozu.cc/>

よろしくお願いします。